

PRESSURE-SENSITIVE ADHESIVE TAPE PROVIDED WITH RELEASE PAPER

Publication number: JP7062307

Publication date: 1995-03-07

Inventor: NAKAJIMA HISASHI

Applicant: SEKISUI CHEMICAL CO LTD

Classification:

- **international:** C09J7/02; C09J7/02; (IPC1-7):
C09J7/02

- **European:**

Application number: JP19930209645 19930824

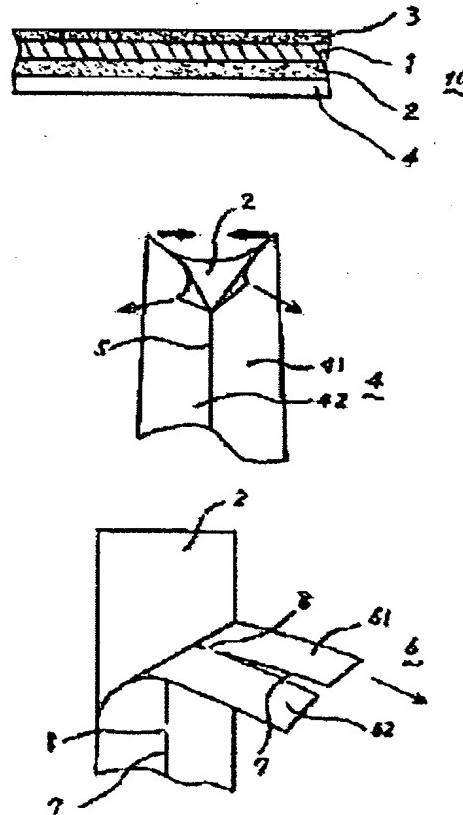
Priority number(s): JP19930209645 19930824

Report a data error here

Abstract of JP7062307

PURPOSE: To obtain a pressure-sensitive adhesive tape whose release paper can be readily peeled from the tape.

CONSTITUTION: To obtain the pressure-sensitive adhesive tape wherein a release paper 4 is provided with at least one line of continuous or discontinuous cut 5 or 6 along the longitudinal direction.



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-62307

(43) 公開日 平成7年(1995)3月7日

(51) Int.Cl.⁶

C 09 J 7/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全3頁)

(21) 出願番号

特願平5-209645

(22) 出願日

平成5年(1993)8月24日

(71) 出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72) 発明者 中島 久

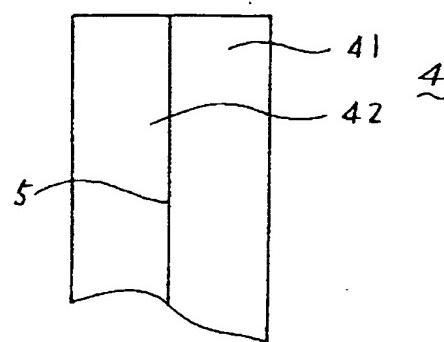
栃木県下都賀郡野木町大字丸林385-13

(54) 【発明の名称】 剥離紙付粘着テープ

(57) 【要約】

【目的】 剥離紙を粘着テープから容易に剥離することのできる剥離紙付粘着テープを提供する。

【構成】 剥離紙4の長手方向に沿って少なくとも一条の連続、或いは不連続の切れ目5、或いは6が設けられていることを特徴とする剥離紙付粘着テープ10。



【特許請求の範囲】

【請求項1】剥離紙付粘着テープであって、剥離紙の長手方向に沿って少なくとも一条の連続、或いは不連続の切れ目が設けられていることを特徴とする剥離紙付粘着テープ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、剥離紙付粘着テープに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、粘着テープは、粘着テープ同士の不要な接着防止と、使用時にテープ巻から巻戻して展開する際の剥離を容易にするために、シリコン樹脂等で表面処理された剥離紙が片面に貼り付けられて剥離紙付粘着テープとして巻芯に巻かれたものが、一般に使用されている（昭和46年6月 高分子刊行会発行「高分子加工」、第186頁参照）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、この剥離紙付粘着テープは、使用時において、剥離紙を粘着テープから剥がして被着体に貼りつける際、粘着テープが薄くて柔軟なことと、剥離紙との密着性があるため、粘着テープの端部から剥離紙を剥がすのに困難することが多い。

【0004】本発明は、このような従来の問題点に着目してなされたものであり、上記問題点を解消し、剥離紙を粘着テープから容易に剥離することができる剥離紙付粘着テープを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の剥離紙付粘着テープにおいては、剥離紙の長手方向に沿って少なくとも一条の連続、或いは不連続の切れ目が設けられていることを特徴とする。

【0006】本発明の剥離紙付粘着テープに、少なくとも一条の連続、或いは不連続の切れ目を設ける加工は、長尺巻の剥離紙付粘着テープの製造工程において、ロールに巻回されて走行中の剥離紙付粘着テープのロール面上において、連続、或いは不連続の刃が付けられた丸刃カッターの刃先を、剥離紙の厚さだけ切り込むように調整して位置決めし、剥離紙面に押し当てる、剥離紙に連続的に切れ目を入れることができる。

【0007】又、剥離紙付粘着テープにおいて、複数条の切れ目を設けるには、複数の丸刃カッターを並列に設置することにより、上記と同様の方法により製造することができる。

【0008】不連続の切れ目を設ける剥離紙付粘着テープの切れ目の長さは、5ミリメートル以上が好ましく、接続部の長さは、1ミリメートル以上が適している。

【0009】

【作用】本発明の剥離紙付粘着テープにおいては、剥離

紙の長手方向に沿って少なくとも一条の連続、或いは不連続の切れ目が設けられていることにより、剥離紙付粘着テープの端部を剥離紙が外側にくるように中央部分を折り曲げると、剥離紙が剥がれてくるので、この部分を掴んで剥離紙を容易に剥離することができる。

【0010】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面を参照して説明する。

【実施例1】図1は、本発明の剥離紙付粘着テープの一例を示す断面図である。図1において、10は剥離紙付粘着テープを示し、1は粘着テープ10の基材であって、厚さ38ミクロンのポリエチレンフィルムでできている。この基材1の両面には、それぞれアクリル系の粘着剤2と、感熱タイプの接着剤3が塗布されている。粘着テープ10の粘着剤2側の表面には、シリコン樹脂の含浸された平方メートル当たり80グラムの易剥離性の剥離紙4が貼り付けられて構成されている。

【0011】本実施例においては、剥離紙4の中央に連続的な切れ目を入れた50ミリメートル幅の剥離紙付粘着テープ10を製造した。

【0012】図2は、剥離紙付粘着テープ10の正面図である。図2において、剥離紙4は長手方向に剥離紙41、42とに、中央の切れ目5により分離された状態で粘着剤2の表面に粘着している。図3は、剥離紙の剥離の実施態様を示す説明図であり、図3において、剥離紙4の端部の切れ目のある中央部分を、図示の太線矢視のように剥離紙4が外側にくるように折り曲げることにより、図中の細線矢視のように剥離紙41、42が外側に向かって切れ目5に沿って粘着剤2より剥離されてくるので、この部分を掴んで片側づつ容易に剥がしてゆくことができる。又、剥離紙41、42と一緒に掴むことにより、容易に両側一緒に剥がすことができる。

【0013】【実施例2】図4は、本発明の剥離紙付粘着テープの他の例を示す正面図である。本実施例においては、実施例1と同様の剥離紙付粘着テープ10を用いて、剥離紙4の中央に不連続の切れ目を入れた50ミリメートル幅の剥離紙付粘着テープを製造した。図4において、6は剥離紙であり、この剥離紙6は中央の不連続の切れ目7により長手方向に剥離紙61、62とに分離されているが、切れ目の途切れた接続部8が等間隔で設けられている。本実施例においては、上記の不連続の切れ目7の長さは100ミリメートル、切れ目の途切れた接続部8の長さは3ミリメートルとした。

【0014】図5は、剥離紙の剥離の実施態様を示す説明図であり、図5において、実施例1と同様の方法で、剥離紙6の端部を剥離した上で、2片に分離されている剥離紙61、62のいずれか一方を、例えば図示の矢印の如く剥離紙61を剥がしてゆくと、他方の剥離紙62は切れ目の途切れた接続部8で一体となっているため、一方の剥離紙61と一緒に引き剥がされてくるので剥離

3

紙6全体を容易に剥がすことができる。

【0015】又、作業の都合により片側づつ剥がす方がよい場合には、剥離紙61、62のいずれか一方を手で押さえておいて、他方を剥がしてゆけば、接続部8は引き切られるので、容易に片側づつ剥がすこともできる。

【0016】

【発明の効果】本発明の剥離紙付粘着テープにおいては、剥離紙の長手方向に沿って少なくとも一条の連続、或いは不連続の切れ目が設けられていることにより、端部の切れ目より剥離紙を容易に剥離することができ、剥離紙付粘着テープを用いる種々の作業において、その能率を大幅に向上させることができる。従って、剥離紙付粘着テープとして好適である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の剥離紙付粘着テープの一例を示す断面図。

【図2】剥離紙付粘着テープ10の正面図。

【図3】剥離紙の剥離の実施態様を示す説明図。

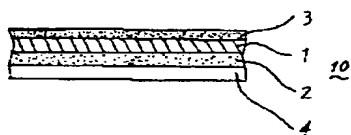
【図4】本発明の剥離紙付粘着テープの他の例を示す正面図。

【図5】剥離紙の剥離の実施態様を示す説明図。

【符号の説明】

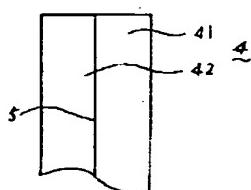
1	基材
2	粘着剤
3	接着剤
4、6	剥離紙
5	切れ目
7	不連続の切れ目
8	接続部

【図1】

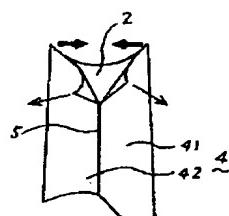


【図5】

【図2】



【図3】



【図4】

